

北九州

11/1
2018
平成30年 No.1325



市政だより

市政・生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター

☎671-8181 年中無休
8時～21時

FAX. 671-0088

主な内容

- 特集 平成29年度決算 12
- トピックス「秋の火災予防運動」など 34
- まちがいファイブ 5

*最終ページは人口データと若松区の情報

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

編集・発行 北九州市広報室広報課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 ☎582-2236

北九州市の財政状況

特集 平成29年度決算

平成29年度決算が市議会で認定されました。決算は、1年間の市の収入や支出の実績をまとめたものです。

市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計の三つに分かれています。ここでは市の基本的な行政サービスに関わる一般会計の決算について、お知らせします。

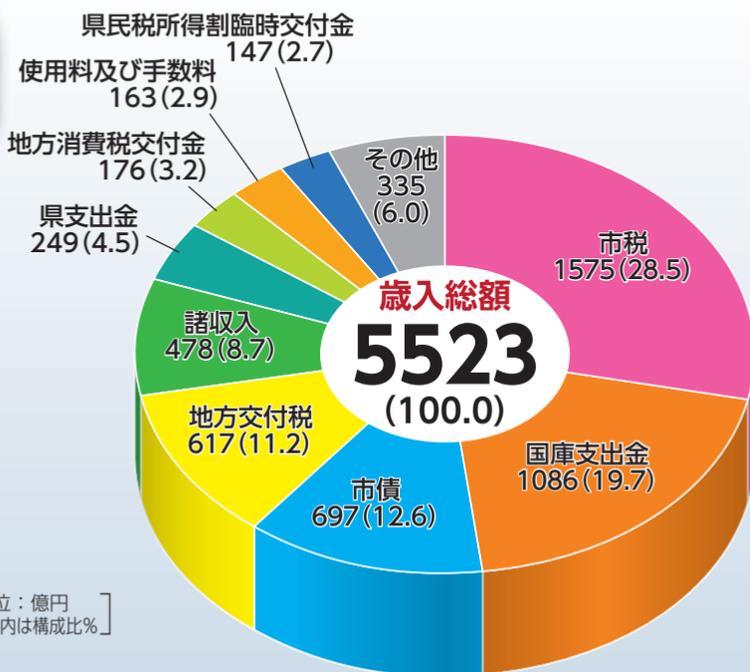
※詳細については決算に関する市のホームページをご覧ください。

●決算の特徴

実質収支は51年連続の黒字

歳入から歳出と翌年度へ繰り越して実施する事業の財源を差し引いた実質収支は、17億500万円です。51年連続の黒字となりました。

歳入



●歳入(収入)の主な特徴

市税収入や県費負担教職員制度の見直しに伴う県民税所得割臨時交付金、地方交付税等の増加などにより、歳入総額は前年度に比べ383億円増加し、5,523億円となりました。

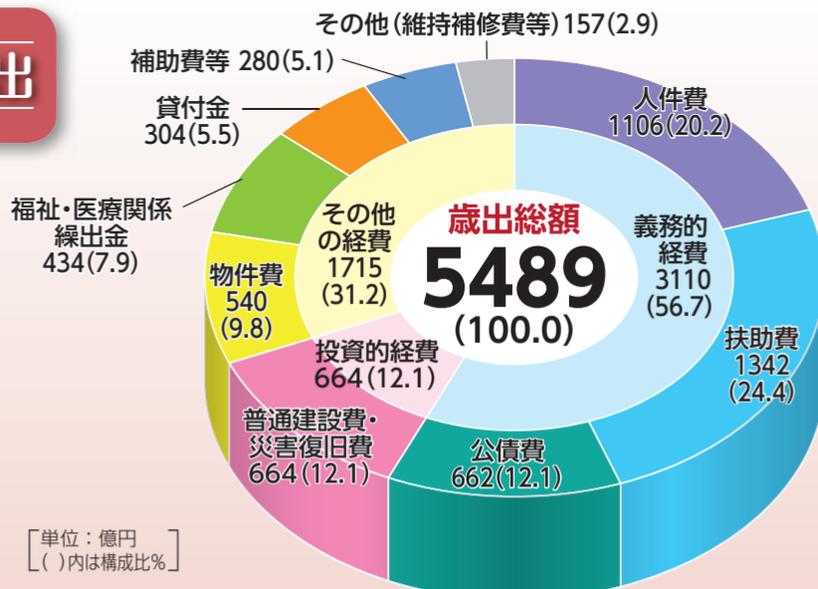
市税収入は3年ぶりの増

市税収入は、景気の緩やかな回復を背景に個人市民税、法人市民税、固定資産税ともに増加し、1,575億円と前年度に比べ13億円(+0.8%)の増となりました。

公共事業などのための市債発行額は、前年度に比べ22億円の減

市債は、道路・公園等の公共施設を作る場合等の財源として、市が銀行などから借り入れる借金のことです。地方交付税の振り替えである臨時財政対策債の増加により、市債発行による収入は697億円と前年度に比べ53億円の増(+8.2%)となりましたが、臨時財政対策債を除く公共事業などのための市債発行額は、363億円で、前年度に比べ22億円(△5.6%)の減となりました。
(*地方交付税・臨時財政対策債は2ページで説明します)

歳出



●歳出(支出)の主な特徴

福祉・医療関係経費(扶助費および福祉・医療関係繰出金)の増加や県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴う給与費等の増加などにより、歳出総額は前年度に比べ379億円増加し、5,489億円となりました。

毎年必ず支払わなければならない経費(=義務的経費)は4年連続の増加

人件費や市の借金返済(公債費)などの義務的経費は3,110億円と前年度に比べ497億円(+19.0%)増加しました。これは、福祉・医療関係経費の増等による扶助費の増加や県費負担教職員の給与負担の権限移譲に伴う人件費の増などによるものです。

投資的経費(公共事業など)は、前年度に比べ67億円の減

投資的経費は、スタジアム整備事業の終了などにより、664億円と前年度に比べ67億円(△9.2%)の減となりました。

市民1人当たりの決算(一般会計)の内訳

一般会計決算を市民1人当たりに換算すると...

約57万1千円となり、このように使われました。

※人口は96万1024人(平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口)で計算

◆保健福祉費

福祉・健康・医療の充実

16万1千円



◆産業経済費

産業学術・観光振興など

4万2千円



◆土木費

道路・河川・公園などの整備

4万7千円



◆子ども家庭費

子育て支援など

6万6千円



◆環境費

ごみ処理、低炭素社会づくり

1万4千円



◆諸支出金

市債の返済など

8万6千円



◆教育費

学校教育

7万6千円



◆総務費

市民活動支援、文化振興など

4万2千円



◆その他

消防・救急活動など

3万7千円

